

宮城県看護連盟

平成30年2月20日発行

第75号

発行者

宮城県看護連盟

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-8-303

TEL:022-293-1720

FAX:022-293-1727

発行責任者：富田きよ子

RENMEIみやぎ



宮城蔵王樹氷

目次

会長あいさつ・ごあいさつ	2~4P
看護制度・政策の動向 ~看護政策実現の過程~	5P
ポリナビワークショップ in 仙台	6~10P
リーダーセミナー	11P
都道府県別会議	11P
第11回ポリナビワークショップ in 大阪に参加して	12P
第24回参議院議員選挙総括と今後の取り組み	13P
総会・研修のごあんない	13P
平成29年度 あの日・あの時	14~15P
会員募集	16P



あいさつ

宮城県看護連盟会長 富田 きよ子



あけましておめでとうございます。

会員の皆様には日頃より看護連盟事業につきまして、温かいご支援・ご協力を頂きまして、心より感謝申し上げます。

昨年は仙台市長選挙、宮城県知事選挙、衆議院議員選挙があり、選挙応援に追われた一年でした。御礼返しも含めて会員一丸となって取り組みました。当選おめでとうございます。

看護界でも、岡山3区の阿部俊子議員、京都3区の木村弥生議員も当選しました。2人ともきびしい選挙戦でハラハラしながら、遠い宮城から電話応援等を行いました。これからもご活躍を期待しております。

たかがい議員は女性局長を退任し文部科学委員長に就任なさいました。20年間も手付かずだった夜間看護手当昇給に声を上げ、私たちも県内の国会議員に陳情し、夜間看護手当が増額されました。うれしいことです。

石田議員は厚生労働委員会の筆頭理事に就任され、現場の声を届ける会で日本中をまわっております。宮城県でも昨年10月に行いました。支部長の意見・要望を聞き、時間ギリギリまで助言も頂きました。ありがとうございました。

1月20日は第24回参議院議員総括と今後の取り組みをテーマに研修会を開催いたしました。講師は東北大学情報研究科学研究科の河村和則先生です。講演依頼時に、100年以上の看護の歴史があり、全国に70万人いる看護職からなぜ17万7000票しか票が出てこないのか、なぜ看護職の意識が低いのか等々、9年間会長として参議院選挙3回戦ってきた経験から、原因と結果を明らかにしたいという思いを伝えお願ひしました。河村先生から適切に明確に分析をしてご講演いただきました。第25回参議院選挙に反映していきたいと思ひます。すでに、日本看護連盟では組織内候補者の「石田まさひろを応援する会」を立ち上げ動き出しております。まずは、会員の皆様に活動していただき、応援する会の名簿を2月末日まで提出をお願いします。

今、社会は未曾有の高齢化が進んでおり、看護も具体的に実践していく必要があります。(医原性サルコペニアの根絶やフレイルの理解と対応)また緩和ケアの進歩にともない厚生労働省では「人生の最終段階における医療の決定プロセス」に関するガイドラインを改訂しました。(H.27.3)しっかり見直しながり取り組んでまいりましょう。

日本列島は、数年に一度の強い寒気が入り宮城では18cmの積雪がありました、どうぞ皆様お身体を大切に、2018年も幸せな年に致しましう、今年度もよろしくお願ひ致します。





「力強い看護連盟」を目指して 日本看護連盟会長 草間 朋子

立春を迎え梅の開花の便りがきかれるようになりました。

今年も、看護現場が抱える課題を看護政策として確実に実現し、会員のみなさまが「看護連盟があってよかった」と組織の存在を実感できる組織作り、活動を、みなさまとともに目指していきたいと思います。

日本看護連盟は、石田まさひろ先生を次の参議院選の組織内候補予定者としてすでに決定し、清水嘉与子顧問を会長に「石田まさひろを応援する会」を立ち上げ活動を開始しております。会員のみなさまには、看護職の国会議員を選出することの大切さをしっかりご理解いただき、「ベッドサイドから政治を変える」のスローガンの下、プライドをもって明るく、元気で働き続けられる環境づくりを目指して、一步一步、確実に歩んでまいりましょう。看護政策の実現は、4人の国会議員の先生の協力を得ながら、私たち看護職の手、力で自律して行わなければなりません。看護連盟の活動の成果は、会員のみなさま一人ひとりの努力の積み重ねによって達成することができます。



ごあいさつ 石田まさひろを応援する会会長 清水 嘉与子

昨年、日本看護連盟総会で「石田まさひろを応援する会」の会長に就任しました。

5年前、日本看護連盟会長として当時の石田幹事長を次期候補者と決めたことを今本当によかったと思っています。お人柄の良さもさることながら、旺盛な探究心、徹底した現場主義は支援者の輪を大きく広げ、そうした活動の中からいくつもの成果をあげ、働く現場にも夢を送り込んでくれています。高階恵美子議員が文教科学委員長に就任した後を受け厚生労働委員会に所属し、1回生にも関わらず筆頭理事の指名を受けるなど参議院の中でも高い評価を得ています。看護の世界が大きく充実してきたとはいえまだまだ政治的に解決すべき問題は一杯です。石田まさひろ候補の2期目の挑戦は来年7月、新しい年号の下で行われる参議院選挙です。どれほどたくさんの票を集めることができるのでしょうか。とても楽しみです。その前に「石田まさひろを応援する会」が頑張らなければなりません。宮城県看護連盟会員の皆様のご活躍を期待しております。



ごあいさつ 参議院議員 石田 昌宏

宮城県看護連盟の皆様、日頃より温かいご支援を賜りありがとうございます。

通常国会が開会しました。私は、参議院厚生労働委員会の筆頭理事を拝命し、野党の筆頭理事と委員会の持ち方を議論し、交渉や調整役を果たします。特に、今国会の厚生労働委員会では、安倍政権のメインテーマである「働き方改革」の関連法案をはじめ重要な法案審議が多く控えています。鋭意努力してまいります。

また、昨年、日本看護連盟総会で組織内候補予定者として指名して頂きました。その後、国会の合間をぬって47都道府県を訪問し、全国の皆様から「夜勤の担い手が不足している」、「看護記録が多すぎる」等の声を頻繁にうかがいました。平成30年度予算案には、22年ぶりに看護職の夜勤手当の増額が含まれ、夜勤勤務者へのインセンティブを図ります。また、報酬改定でも記録合理化に向け見直しがされます。取組が少しずつ進んでいますが、第一線で活躍する皆さんが変化を実感するにはまだまだです。

“今日もいい看護ができた！”と充実感を持って頂けるよう、今年もいっそう国政の場で声を挙げて参ります。引き続きご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



ごあいさつ

参議院文教科学委員長 参議院議員 高階 恵美子

宮城県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。

さて昨秋の衆議院総選挙では、一致結束の大勝利を収め、新たな希望の拡がり
を共有することができました。看護職はいのちの現場の守り手として、次代に相
応しい社会保障制度体系づくりを牽引する大切な存在。その一人ひとりの真心に

感謝し、看護職の誇りと気概を胸に、これからも果敢に挑戦を続けたいものです。

私こと、参議院では文教科学委員長に指名され、教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査
にあたることとなり、また党政務調査会においても新たに文部科学部会副会長を拝命しました。厚生労
働部会についても引き続き、副会長の任にあたります。働き方改革を始め幅広い厚生労働分野の諸課題
と真摯に向き合い、これからも、その解決のため堅実に職責を果たして参ります。

皆々様の温かいお支えに改めて心から感謝を申し上げ、皆様の更なる御活躍を祈念申し上げます。



ごあいさつ

衆議院議員 あべ 俊子

宮城県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げ
ます。皆様におかれましては、清々しく新しい年を迎えられたことと拝察申し上
げます。

昨年は全国の看護連盟の皆様の多大なるお力添えのおかげさまで、5期目の国
政へ送り出していただくことができました。本当にありがとうございました。また改選後は、財務金融委
員会(理事)、予算委員会、地方創生に関する特別委員会の委員を拝命するとともに、自民党副幹事長とし
てもその任に就かせていただいております。

1月より第196回通常国会が始まっています。これからますます本格的となる超高齢社会を支えるため
には、看護職の皆様の大きな力が必要です。その看護職の皆さんお一人お一人が働きやすく、やりがいをも
って看護ができるお役に立てるよう、引き続き現場の声をお聞かせいただきながら全力で取り組んでま
いります。本年もどうぞよろしく願いいたします。



ごあいさつ

衆議院議員 木村 弥生

宮城県看護連盟の皆さま、こんにちは。

昨秋の衆議院議員選挙では、温かいご支援を賜り、ありがとうございました。
看護連盟の皆さまのお力添えあって、再び議員バッジをお預かりさせていただく
ことになりました。

初当選から、医療分野をはじめ、待機児童、特別養子縁組、生活困窮者の就労支援等の政策課題に、強い
思いを持って取り組んでまいりました。

これからも「誰もがより健康で活躍できる社会」の実現に向け、看護の代表の一人として、看護と政治を
つなぐ役割を果たすため、現場の最前線でいただいたご意見やご要望を政策に反映してまいります。

そして、政治家として、光の当たらぬところにあたたかな光を当てていく政治を忘れずに、女性の視点、
母親の視点、看護の視点を生かし、皆さまのご期待と信頼に応えてまいります。京都はもとより全国の看
護職の皆さまへのご恩返しをしてまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



会員研修

平成29年9月16日(仙台ガーデンパレス)

看護制度・看護政策の動向 ～看護政策実現の過程～

講師：草間朋子氏(日本看護連盟会長)



仙台厚生病院 小野 貴之

9月16日、仙台ガーデンパレスに於いて、「看護政策の実現と看護連盟の役割」と題し、日本看護連盟の草間朋子会長より講演を頂いた。

社会を変革できる組織、社会に向けて発進力や発言力のある組織として、今年度は会員数の増加(10000人増を目標)に力を入れている。

また、看護政策の実現には、制度化・法制化が重要とし、日本看護連盟の活動計画として組織力の強化・拡大、政治力の強化をあげている。また、4名の看護職の国会議員による主な活動には、20年ぶりとなる看護師の夜勤手当の増額や、看護必要度に関わる看護記録の簡素化があり、いずれも看護師と密接に関わる問題である。このように、現場の声を看護の場へ変化としてもたらずには、看護職を代表する国会議員を国政の場へ送り、政策決定の場で活動できるポジションを獲得する事が重要という。そのためには連盟会員としての活動を理解し行動することが大切であり、いずれ我々看護師の働きやすさとして繋がってくるのだと実感できた。



ポリナビワークショップ in 仙台

看護政策と看護連盟活動 ～ベットサイドから看護政策へ～

講師: 石田昌宏氏(参議院議員)

平成29年10月29日 仙台ガーデンパレス

平成29年度ポリナビin仙台開催総括

仙台厚生病院 富樫慎太郎

今回は青年部が組織されて、2回目の県ポリナビであった。5月から企画・準備を行ったが、自立的に準備できなかったこと、準備段階でのヌケやモレが多かったことを振り返ると、全体として成功したとは言いにくい。

今回の試みは、2つであった。

1つ目は、青年部員による座学(看護連盟と政治に関する内容)である。青年部長が『看護職のための看護政策入門-第2版-』と論理的思考を基に原案を作成して、青年部会議で内容を検討した(内容は別の資料を参照)。これに関する客観的評価はないが、宮城県看護連盟役員からは好評を得た。

2つ目は青年部員と石田参議院議員とのパネルディスカッションであった。会場とのコミュニケーションを目的として企画した内容であったが、会場からの発言はなく、青年部員と石田参議院議員との質疑応答が中心となってしまったように感じる。後半では会場へ発言を促した結果、発言を得られたが、閉会の時間の都合上切り上げるに至った。会場に対して呼びかけられたことは、アイデアを共有すること、残業申請を行うことを行った。

以上2点が今回の試みである。課題としては、会場を巻き込む工夫を準備しておくことであったと考え、次回開催の際は要検討とした。

準備段階での課題は、事務局への報連相や依頼、確認事項のヌケやモレの対策である。これは、幹事長から助言をいただき、ポリナビ開催のガイドライン/To-Doリスト(仮称)の作成を行うことを挙げる。

アンケート集計結果から次回以降のポリナビの内容についての意見として、参加者の興味・関心として給料、認定看護師や専門看護師などのスペシャリスト、心身のリフレッシュに関する事が多かった。

結論として青年部は2回目の県ポリナビを経験し、次回への課題が明確になった。今後の円滑な青年部運営とポリナビ開催のために、対策を具体的に実行できるよう尽力したい。





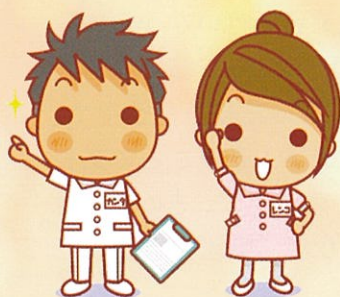
ポリナビワークショップin仙台を企画・運営して

仙台厚生病院 高橋真利子

今回私は青年部に参加してから2回目のポリナビ運営・企画であり、最初の仙台ポリナビは、青年部が発足して初めてのポリナビであり、自分達のことので精一杯になり周りが見えていない状況だったと感じる。しかし、今回の仙台ポリナビは、青年部一人ひとりが、自分達の役割を責任もって行っていたことや、ポリナビ全体の把握、参加者の反応をより近くでみることが出来ていたと感じた。参加者が興味をもって富樫さんの講義や石田先生の講義を聞いており、グループワークの話し合いの中でも「現場の声」を届けることがとても大切であることを理解しているように感じ、よりよい話し合いになった。

また、今回のプログラムは富樫さんが作成した資料をもとに、石田先生とのシンポジウムのような形式で行ったことにより、石田先生の考えていることを知ることができ、また石田先生の知識や情報量の多さに驚いた。

これからアンケート結果などを集計し、これからの企画運営などに生かして行きたいと思う。



ポリナビワークショップ in 仙台

看護政策と看護連盟活動 ～ベツトサイドから看護政策へ～

講師:石田昌宏氏(参議院議員)

平成 29 年 10 月 29 日 仙台ガーデンパレス

ポリナビワークショップに参加して

仙台オープン病院 石川 恒紀

私は今年から看護連盟青年部の活動に参加させていただくことになりました。看護連盟や国会議員の皆さんが日頃どんな活動をしているか理解出来ていませんでしたが、青年部委員長のスライドを使用しての説明を聞き、理解が深まりました。この活動を自分が働いている病院のスタッフへ広め興味関心を持ってもらい、患者さんにとって良い看護が提供できるようにしていくことが大事だと思いました。

国会議員の方と接するのも初めての経験でした。今回のポリナビには、石田参議院議員に参加していただきました。石田さんは、全国各地を回り現場の声を大切にされている方でした。ポリナビでのグループワークの際も、各テーブルを回り、皆人とコミュニケーションを図っていました。私も少しお話させていただく機会があり、自分たちの孫世代がより良い仕事ができるように目指しているという考えを聴くことが出来ました。仕事をしていく中で、課題は多々あると思います。その現状を把握し、少しでも多く国会議員の先生方に声を届けることが看護連盟の役割であると実感しました。

仙台オープン病院 高橋 すみか

今年度から看護連盟青年部に参加することとなりました。参加したときは看護連盟の活動ってなにをしているのだろう。ポリナビってなにをするんだろうという気持ちから始まりました。参加者としてではなくポリナビの企画者側の立場となり、看護連盟の活動が私達看護師の職場環境の改善に繋がっており、それが患者さんにより良い看護を提供することに繋がっていると改めて実感することができました。

また石田まさひろ先生の講演を聴き、高齢化社会の現代において、一般業務を行いながらの認知症患者との関わり方を考える機会となりました。私の病院でも認知症の方は多く、転倒転落のリスク、点滴の自己抜去など多くの問題があります。ですが私達が他の患者の業務を行う中で、認知症患者と関わるためには他の業務が止まってしまうことも多々あります。そのことで業務が滞り、残業が増え職場環境が悪いと感じる原因にもなるのではないかと思います。そのため看護師の中で役割を決めるという一つのことを行うだけでも、お互いがより良い環境で過ごすことができるのだと感じることができました。



仙台ポリナビに参加して

広南病院 森 智弘

看護連盟青年部に参加するようになって、山形で開催されたポリナビに参加させてもらい、ポリナビではどんなことをするのかを知ることができ、今回、開催する側として参加させていただきました。

今年からの青年部参加で全然わからないことが多く、ポリナビのテーマや内容を考えるという部分では何もすることができなかつたため、今回のポリナビではカメラ係として皆さんの動きやグループワークでの話している内容、石田先生の講演を青年部の一員として、一参加者として見ることができ、青年部が行っていくこと、ポリナビとはどんなものなのかを自分なりに感じ、学ぶことができたと思います。

- 参加者を増やすためにはどのような会にすればいいか
- 看護師のどの層に向け行かうか、テーマ、内容
- 看護連盟の活動がどんなもので、どんなことが実際に現場に反映されているのか

ポリナビを開催するうえで、上記の内容3つがまず最初に考え、決定するのが難しいと感じました。

自分も青年部に参加させていただき最初に思ったことは、看護連盟の活動で実際に現場に反映されていることが何なのか、という部分でした。それが今回のポリナビでは参加者の方に知ってもらうという部分では自分も今回のポリナビで少しでも知ることができたのではと感じ、参加者の方も知ることができたのではと感じました。

また機会があれば、他県のポリナビに参加し、他県の活動などを聞いてみたいと思いました。

ポリナビワークショップに参加して

広南病院療護センター 本木 翔子

私自身、これまで看護政策についてほぼ知らず、具体的に何をしているのかなど考えたことがありませんでした。

ポリナビワークショップに参加し、看護連盟の活動内容や実際に石田まさひろ議員が現場の声を届けてくださり、約20年ぶりに夜勤手当が増えたりと日々看護政策も変わっているのだと知りました。また、他病院の看護師と意見を交わすことにより様々な考え方や働き方を知り、私ももっと頑張らなくては、こう考えているのは私だけじゃないんだと刺激や勇気をもらえました。

今回のテーマである「つなぐ～ベッドサイドからの看護政策～」を常日頃から考え続け、このような場で現場の声を届けることにより初めて看護政策が進むのだと感じました。考える場に参加でき、看護連盟の活動や看護政策について知ることができよかったです。そして、看護とは私達の声を届けてくれる方々がいて成り立っていると改めて知り、私自身も少しずつ看護の現場をよりよくできるよう活動し、看護の未来に繋げていきたいと思いました。

ポリナビワークショップ in 仙台

看護政策と看護連盟活動
～ベットサイドから看護政策へ～

講師:石田昌宏氏(参議院議員)

平成29年10月29日 仙台ガーデンパレス



ポリナビワークショップに参加して

石巻赤十字病院 西條 裕彬

ポリナビでは、石田先生の講演を通し、看護連盟に関する学びを得る良い機会となった。私は今年度より看護連盟の青年部として活動する事になったが、これまでは看護連盟に特別な興味を抱くこともなければ、青年部という組織の存在を知る由もなかった。

ポリナビで特に印象に残っている事は石田先生との意見交換の場面であった。看護記録の簡素化、患者への身体拘束に対する看護師のジレンマ、看護の現場へのAIの導入、残業時間に関する問題…様々な現場の声に対し、石田先生の見解を得ることができた。同時に私達も、その自分の「声」に責任と裏付けを持たなければならないのだということを感じた。単なる不満ではなく、根拠のある意見を現場の声として石田先生に届けていきたい。

私にとってポリナビへの参加は、看護連盟に興味と関心を抱くことができ、青年部の活動の意義を理解できたため、とても有意義な体験であった。

ブロックポリナビ in 仙台 2017に参加して

青年部 仙石病院 木村 美穂

今年の3月から青年部として活動しはじめ7カ月が経過した。青年部として活動するまで選挙とは？政治とは？と特に考えることもなく自分にあまり関係のないことであると考えていた。しかしながら、連盟の活動に参加するたびに政治へ参加することの重要性を知ることができた。20代の政治への関心の低さの改善を目的の1つとして今回のブロックポリナビの開催があったわけだが、今まで自分は主催側に携わったことがなかったため、準備から実行に移すまでたくさんの時間と協力が行われているのだと経験することができた。また、主催側ではあったがグループにファシリテーターとして参加することにより実際の声が聴けることや会場の改善点を参加者の目線でみることもできたため次回への課題も見つけることができた。今回のポリナビを来年度に生かすため、また宮城県の若手の看護師に政治への関心を高め、現場から声を上げる重要性を周知するため、自らが他県のポリナビへ参加し利点を自分たちのポリナビへ組み込みより良いものにしていきたい。

リーダーセミナー

リーダーの役割

講師：本内敦子氏(福島県看護連盟会長) 平成29年10月14日 仙台ガーデンパレス

「平成29年度リーダーセミナーに参加して」

宮城県看護連盟 青年部副委員長 台南東北病院 藤井 純

平成29年10月14日(土)仙台ガーデンパレスにて開催のリーダーセミナーに参加いたしました。私は、所属する支部のリーダーおよび青年部委員として活動をしています。今回福島県看護連盟の活動について講演をいただいた中で、私が一番気になったのは、青年部の活動についてでした。広い福島県内ではどのように活動しているかがわかりませんでした。それぞれの支部に青年部委員が配属され、東西南北とそれぞれの地域からの意見の交換や交流が生まれ、中央で開催される青年部会議や、ポリナビ企画・運営、その他にも運動会などの楽しい企画も生み出されていることがわかりました。

「福島の活動力はすごいなあ～」と私個人で驚いてしまいました。宮城も福島に負けないように活動していけるように今後とも頑張っていきたいと思います。



都道府県別会議

平成29年10月14日 仙台ガーデンパレス

仙台赤十字病院 鈴木かおる

平成29年度都道府県別会議



平成29年度都道府県別会議が開催されました。県内各支部における「看護連盟と看護協会との連携状況・連盟会員増への取り組み状況・リーダーの活動状況等」について報告し今後の各支部での活動のあり方について考えました。看護協会が取り組む政策実現のためには、その制度化・法制化

を推進することが不可欠です。看護連盟では「①看護職の代表としての看護職議員を国政へ送り出すこと・②連盟会員一人ひとりが、その目的を理解して連盟活動へ参加・協力ができるようにすること③学生等若い世代に政治への関心を持ってもらうことと連盟入会促進④選挙投票による政治への参加」が大切であることを再確認しました。本会開催は第48回衆議院選挙公示後でしたので、岡山：あべ敏子議員と京都1：木村やよい議員が再選されるよう応援を誓って会を終えました。

平成29年度都道府県別会議



第11回全国ポリナビワークショップin大阪に参加して

総合南東北病院 藤井 純

平成29年1月25日 ホテルアウイーナ大阪

テーマ：「看護協会・看護連盟の連携で看護政策を実現する」～現場からの叫び～

当日の参加人数は約400名で超満員となっていた。

<内容>

- ①救急センター ②急性期病院 ③療養型病院
- ④訪問看護 ⑤認定看護師 ⑥現任教育



上記6つの分野で活躍されている看護師から、現場からの実際体験していることを基にして現状を発表(パワーポイントにて)し、それぞれの分野に対して石田議員、木村議員他4名でパネルディスカッションし、問題についての意見交換をしていく内容であった。

私が青年部委員として看護連盟活動に参加するようになり、早いもので2年が経過いたしました。これまでは宮城県内および東北ブロックでの活動が中心でしたが、この度平成29年11月25日(土)にホテルアウイーナ大阪を会場に開催された、第11回全国ポリナビワークショップin大阪に参加することができました。

当日は全国から約400名の参加があり、参加者の数だけでも全国はすごいなと驚きました。全国規模でのポリナビ参加は今回が初参加でした。テーマとして「看護協会・看護連盟の連携で看護政策を実現する。～現場からの叫び～」として、石田まさひろ参議院議員、木村やよい衆議院議員、その他大阪市議会議員の先生方がご出席されました。ポリナビと言えば私の中で、グループワークがメインになっていると思っておりましたが、今回はそれではなく、パネルディスカッション形式での運営でした。それぞれ6分野(①救急センター ②急性期病院 ③療養型病院 ④訪問看護 ⑤認定看護師 ⑥現任教育)ごとに発表者の専門が違い、現場の現状と問題をそれぞれ聞くことができました。また、議員の先生方が同時に同じ会場にすることで、リアルタイムに生の声を伝えることができ、大変活気に満ちた会でありました。更に、私が今回のポリナビ運営で驚いた点は、発表者が全て青年部のメンバーであったということです。同じ青年部の仲間が分野に分かれ、発表し意見をディスカッションするこのスタイルは、かなり刺激となるものであったと思います。県は違えども青年部メンバーであるのは同じです。だから余計に私は仲間の意見がより一層伝わってくるものであったと思います。北海道・東北ブロックでも、近畿ブロックに負けないような連携した取り組みで、楽しい・面白いと言っただけのような楽しい内容で企画運営を今後できるように活動をしていきたいと学びました。

最後に今回、全国の青年部員の方と交流を深めることができ、更にネットワークが拡大し情報交換が密にとれるきっかけの場となりました。今後活動範囲を更に広げ、看護の仲間へ看護政策を知ってもらえるように日々取り組んで参りたいと思います。

会員研修

第24回参議院議員選挙総括と今後の取り組み

～ 宮城県・全国 得票数からの分析 ～

講師 河村和徳 先生 (東北大学准教授)

平成30年1月20日 仙台ガーデンパレス

会員研修に参加して

仙台オープン病院 村井やよい

2016年参議院選挙の結果、政治連盟の意義を理解する、今後の取り組みについて理解を深める内容でした。政治連盟をつくるメリットは政治に関わりを恒常的に持つことが出来ること、政治家に対しアピールが出来ることです。しかし、一方では入らなくても恩恵を受けられる、好きな人にやらせておけばいいと思えばぼってしまうデメリットもあります。そこで、いかに団体活動への参加を促すかが課題となります。ベッドサイドから政治を変える、そのために看護連盟の意義を伝えなければならぬとさらに感じた研修でした。



総会・研修会のご案内

日本看護連盟総会

平成30年6月5日(火)
ザ・プリンスパークタワー東京
12:30～15:00

宮城県看護連盟総会

平成30年6月30日(土)
仙台ガーデンパレス
10:00～12:30

公演：夢を実現する
講師：只野寛子(国際医療福祉大学教授)

平成 あの日



29年度 ・あの時



この心地良さ、誰にも譲れない

エーデル
EDEL

2017 collection

東洋羽毛では睡眠セミナーの
サービスを無料で承っております。



水と、空気と、睡眠と。
TUK東洋羽毛

東洋羽毛北部販売株式会社 仙台営業所

〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井一丁目29番地の13
HPアドレス <http://www.toyoumo.co.jp>

0120-023-337



GOOD DESIGN

030-180117-1

エーデルマウンテンキルト掛けふとんは
2017年度グッドデザイン賞を受賞しました。



Standard Model

冠婚葬祭や公式行事に、女性を美しくコーディネートする
クィーンパールのスタンダードモデルの本真珠セットです。



Since 1994 23th Anniversary

0120-004-083

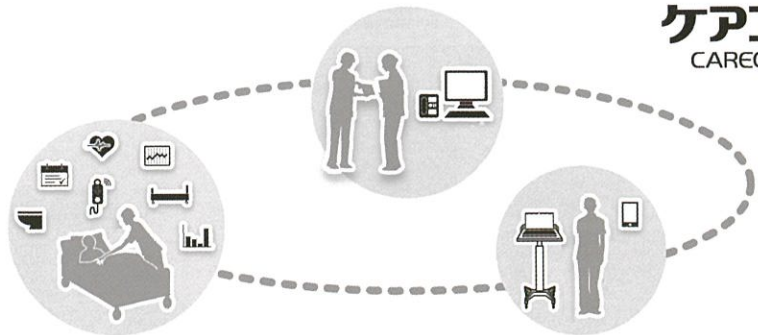
仙台市太白区茂庭台4丁目3-11

www.queen-pearl.com

病棟業務支援プラットフォーム

NICSS-EX8

NICSS-EXは
あらゆる看護情報を、
どこにいても、
必要なかたちで提供します。



ケアコム
CARECOM

株式会社ケアコム【仙台支店】

〒981-0911 仙台市青葉区台原 4-11-33 サンハイツ台原 2F

Tel. 022-272-8781 (代) Fax. 022-272-8783

<https://www.carecom.jp/>



会員募集!

あなたの力が連盟活動を支えます。
職場の声を国政に反映させましょう!



- 正会員 (年会費) **8,000円** (本部会費5,000円 県会費3,000円)
- 特別会員 (年会費) **8,000円** (正会員の経験を有し、未就業で現在看護協会員に入会していない方)
- 賛助会員 (年会費) **2,000円** (看護連盟の趣旨に賛同していただける方であればなたでも入会できます)
- 学生会員 (年会費) **無 料** (看護学生で看護連盟の趣旨に賛同していただける方)

お問い合わせ(事務局)

TEL. 022-293-1720

FAX. 022-293-1727

E-mail: renmei-miyagi@lily.ocn.ne.jp

編集後記

今回は、ポリナビin仙
台にフォーカスしてまと
めました。

若い人らしい文章で魅
力的です。どうぞ持てる
力を発揮して、ご活躍下
さいます様に。

富田・江田